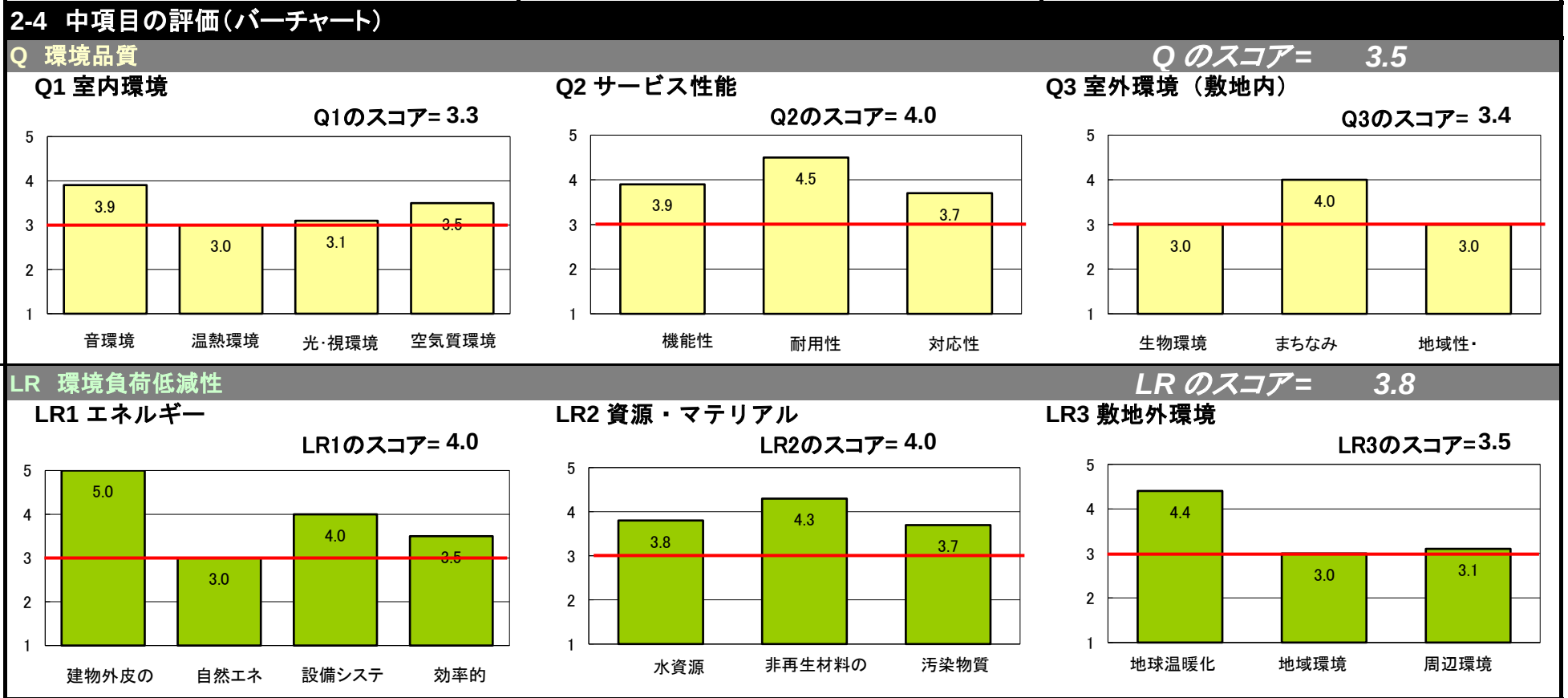
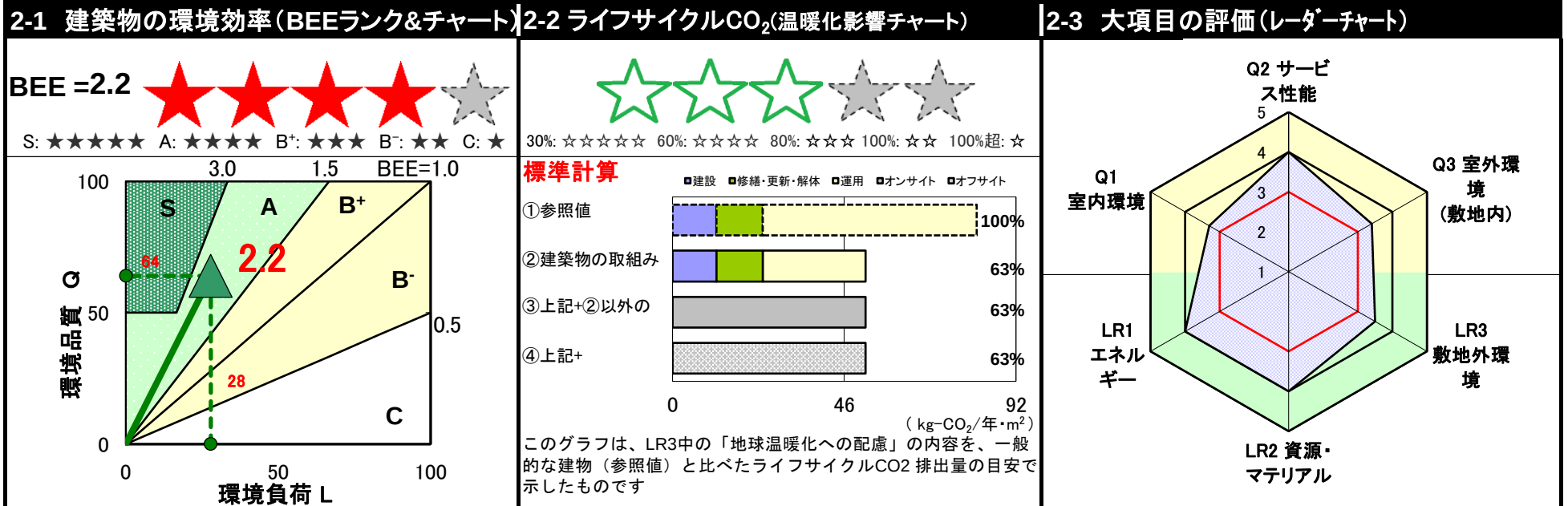


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	新1号館	階数	地下1F、地上9F
建設地	神奈川県伊勢原市下糟屋字上ノ台143-2他	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	1,100 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	学校,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2028年3月 予定	評価の実施日	2025年6月10日
敷地面積	17,855 m ²	作成者	大成建設株式会社一級建築士事務所
建築面積	5,036 m ²	確認日	2025年6月10日
延床面積	31,647 m ²	確認者	大成建設株式会社一級建築士事務所



3 設計上の配慮事項		
総合 ・神奈川県伊勢原市に計画する大学キャンパスの新1号棟。 ・小田急小田原線伊勢原駅から車で10分の第一種中高層住居専用地域に地下1階地上9階、RC造（一部鉄骨造）で計画した。		その他 —
Q1 室内環境 ・T-2性能のサッシを採用している。 ・建築材料は、JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用。	Q2 サービス性能 ・基準の50%増の耐震性を有している。 ・基礎免震を採用している。	Q3 室外環境 (敷地内) ・既存の植栽を保存した緑化計画としている。
LR1 エネルギー ・主要な用途別にエネルギー消費の内訳を把握している。	LR2 資源・マテリアル ・LGSを採用することにより、躯体と仕上材が容易に分別可能となっている。	LR3 敷地外環境 ・LED照明設備を使用し、光害に配慮している。 ・ライフサイクルCO₂排出率63%としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される